

▶ 会社概要

会社名 株式会社東京システム技研 (略称TSL)
 設立 1971年2月22日
 役員 代表取締役社長 布施 靖行
 資本金 1億6,250万円
 従業員数 205名 (関係会社含む)
 本社 〒160-0023
 東京都新宿区西新宿1丁目21番 明宝ビル3F
 TEL 03-3342-2651 FAX 03-3348-4634
 関連会社 株式会社ティー・エス・エル北陸
 〒920-0869
 石川県金沢市上堤町1番33号 アパ金沢ビル4F
 TEL 076-262-3266 FAX 076-265-6226



▶ 沿革

- 1971年 2月 (株)東京システム技研設立。東京エレクトロン(株)ソフトウェア部門が(株)東京放送の協力を得て分離独立し、資本金500万円、横浜で発足
- 1977年 1月 EDA (Electrical Design Automation) 分野に参入。論理シミュレータ、回路シミュレータなどの輸入販売を開始
- 1982年 12月 (株)東京エレクトロンが所有していた全株式を取得し、完全独立
- 1993年 2月 EUCを強力にバックアップするミドルウェア「DBEAM」発表
- 2000年 3月 通産省SI企業認定
- 2003年 8月 金沢営業所を分離し100%出資子会社(株)ティー・エス・エル北陸を設立
- 2006年 2月 プライバシーマーク取得
- 2008年 11月 エコアクション21 認証・登録
- 2009年 5月 大学向けGPS出席管理ソリューション (iPhoneアプリ) を発表
- 2012年 1月 ISO/IEC27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) 認証取得
- 2013年 1月 ISO9001 (品質マネジメントシステム) 認証取得
- 2013年 3月 スマホアプリ「上野動物園ナビ」リリース
- 2016年 6月 Windows10、Excel 2016をサポートした「DBEAM V9.0」販売開始
- 2018年 7月 新サービス est! forecast (AI需要予測) リリース

採用に関するお問い合わせ ▶

メールアドレス : saiyo@tsl.co.jp
 フリーダイヤル : 0120-03-1289 (携帯電話可)

未来創造 テクノロジー More Value

～ 基盤技術と最新テクノロジーの融合で、
確かな明日を築く ～

MISSION

TSLの Vision

これまで培った基盤技術とAI・IoT・X-TECHなど最先端デジタルテクノロジーを融合し、お客さまや社会にさまざまなソリューションを提供するデジタルトランスフォーメーションカンパニーを目指します

TSLの Core Value

お客さまに期待以上の価値を提供することで、“心を打つ満足(宝)”を届けます

TSLの Culture (社風)

技術を継承しつつ、最新技術の習得によりITプロフェッショナルを育成し1人ひとりが夢をもって働ける風土を目指します

TSLの Compliance (法令遵守)

常に社会性を重んじ、透明性の高い健全な事業活動を行います

BUSINESS

東京システム技研の事業



金融ソリューション

- 金融業界向け業務アプリケーション開発・運用保守



製造ソリューション

- ERPパッケージ(生産販売原価管理システム)
- 業務コンサルティング



AIソリューション

- 需要予測システム[est! forecast]の開発・導入サポート
- AIの導入支援、AIを活用したシステムの構築・開発・保守



クラウドインテグレーション

- Webシステム、スマートデバイスを活用した開発
- クラウドサービスの開発・保守
- 大規模システムプロジェクトマネジメント



その他開発

- DX(デジタルトランスフォーメーション)コンサルティング
- X-TECH(ブロックチェーン・IoT・スマートデバイス・RPA)ビジネス
- ISV(独立系ソフトウェアベンダー)ビジネス

※ブロックチェーン:分散型台帳技術
IoT:インターネットオブシングス
RPA:ロボティック・プロセス・オートメーション

KEYWORD

1971年設立
(歴史ある企業)

ERPパッケージ
導入実績

150社以上

AI技術
(est! forecast)

クラウドとIoTが連動した
高い付加価値のサービスを提供

大手複合グループ企業からも

信頼される
ソリューション力

企画・設計・運用・改善・保守まで
ワンストップサービスが提供可能

幅広い技術領域

モバイル機器から
産業用機器向けの
各種組み込み機器開発力

事業戦略イメージ図

Business Value

既存事業
クラウドインテグレーション
エンドユーザ など

育成事業
ISVビジネス、
X-TECHビジネス、
AIソリューション

成長事業
金融ソリューション
製造ソリューション

課題解決

付加価値提供

新価値創造

TSL Digital Transformation Road Map

社員紹介

Q TSLを選んだ理由は?

文系出身なので、入社後の教育体制を考慮し検討を重ねる中で、新人研修制度が一番充実していた点にひかれて、入社を決めました。また、資格取得支援制度が完備されており、目標設定や達成度の確認など、自らを励まし成長を加速させる意味でも、私たち文系出身者にはありがたい、と感じました。

一方、広い業務範囲の下で大規模案件が多く、確かな実績で社会に貢献している点も当社の魅力。今やICTこそが業務改革をけん引する原動力でもあり、お客さまをビジネスゴールに導く伴走者として、文系的な知見や発想は大きな戦力になるはず。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は?

全国5拠点・1,200台のPCがつながる金融系コールセンターシステムの刷新案件は、協業企業とも連携し2年半の工期をかけた大プロジェクトで、大変印象深いものでした。カットオーバー時には、チーム総出で各拠点に出張支援。無事に移行を実現したときの大きな達成感が、何よりのご褒美となりました。

私たちが提供するコールセンターソリューションは、自信をもっておすすめできる自信作です。今後さらに多くのお客さまへの提供を進めて、「TSLといえば、コールセンターシステム」といわれるようなソリューションに育てていきたい、と夢を描いています。

1日のスケジュール	9:00 出社。メールチェックと作業タスクの整理	10:00 チーム打ち合わせ 提案資料作成	12:00 社内でランチ または、移動中にランチ	13:00 顧客打ち合わせ、商談	17:00 チームメンバーの作業状況チェック	18:00 都合の合うチームメンバーと新宿付近で一杯開始
-----------	--------------------------	-----------------------	--------------------------	------------------	------------------------	------------------------------



T・S

金融ソリューション部・プロジェクト課長
2000年入社 経済学部経済学科卒



S・O

製造ソリューション部・主任
2007年入社 情報処理科卒

Q TSLを選んだ理由は?

合同企業説明会での会社説明がわかりやすく、志望者を思いやる姿勢に好印象を抱きました。さらに会社説明会に参加して、事業内容や社風、待遇体系などを詳しく知る中で、「自分の意見を積極的に発信しながら、多種多様な経験を積むことができそう」と確信して、入社を決めました。

入社後、半導体向けのCIMシステムを皮切りに、モバイルフォン向けシステムや大手新聞社向けシステムの開発など、幅広い分野に広がるバラエティ豊かな案件に関わることができました。志望時の予想通り、着実に成長ステップを歩み続けてきた実感があります。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は?

最も思い出深いのは、入社2年目に担当した半導体向けプロジェクトです。初めてお客さま先に常駐。当初は3カ月の予定でしたが、まだまだ学ぶことが多く「確かなアウトプットを出したい」と自ら契約期間の延長を申請し、合計1年間参画。お客さまからも感謝のお言葉をいただくことができました。

現在、企業活動の全プロセスを統合したパッケージ・ソフトERP (Enterprise Resource Planning) の開発・導入を進めています。導入プロセスは苦勞も少なくありませんが、「標準手順に即した業務改革が進んだ」というお客さまのご評価が、何よりの励みです。

1日のスケジュール	9:00 出社 メールチェック	10:00 打ち合わせ・開発作業	12:00 同僚と社外へランチ (カレー屋が多い)	13:00 打ち合わせ・開発作業	18:00 退社 (部活動の日もあり)
-----------	-----------------	------------------	---------------------------	------------------	---------------------

Q TSLを選んだ理由は?

就職面接で、積極的に新しい技術に取り組む企業姿勢を知り、面接官との会話が盛り上がったのを今でもはっきりと覚えています。そのとき「新し目の好きで、常にチャレンジし続けたいと願う自分の性格にピッタリだ」と感じて、入社意欲が一気に膨らみました。

現在、Webアプリケーションの作成を担っていますが、そんな入社以来の気持ちは変わりません。いつも「新しい技術を導入して、より良いものを作れないだろうか…、ユニークな機能やサービスを拡大することができないだろうか…」と技術動向に目を凝らし、提案するように心掛けています。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は?

プロジェクト運営に際しても、新しいツールを活用するように心掛けています。それは、「より便利な機能を使いこなすことで、メンバー全員の負荷を軽減しながら、さらに大きなパフォーマンスを生み出したい」という気持ちによるものです。

ある会員システムのプロジェクトは、特に思い出深い案件のひとつです。そこではWebアプリケーションの知識だけでなく、ネットワークやストレージなど、システム全体を鳥瞰する大局的な視点が求められました。難易度が高い分だけ学ぶことも多く、若手を含むチーム全体のスキルアップが実現しました。



F・K

デジタルビジネスソリューション部・主任
2009年入社 工学部情報工科学卒

1日のスケジュール	10:00 出社 メール確認、進捗管理	12:00 昼休み 会社周りで夕食	13:00 顧客対応、設計、開発、テスト	17:00 顧客対応、チーム内レビュー
-----------	---------------------	-------------------	----------------------	---------------------

Q TSLを選んだ理由は?

私は商学部出身なのですが、「変化が著しい時代の中で、将来にわたって必要とされる仕事は…?」と考えて、ICT業界を志望しました。とはいえ、PCもExcelやPowerPointを少し扱ったことがある程度で、システム構築経験は皆無。そこで教育研修体制がしっかりしていることを基軸に、会社選びを進めました。

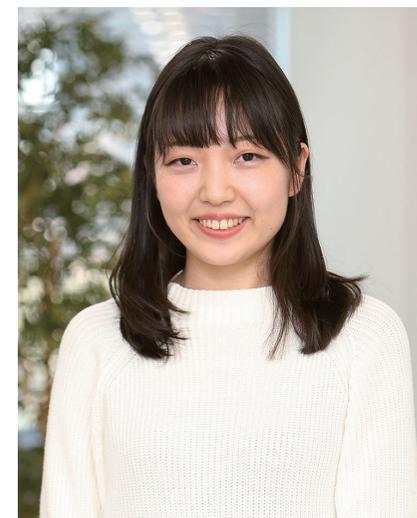
そんな中で、研修に力を注ぎ、企業全体で人材を育てる体制が整備されていること、さらに長い歴史の中で名だたる有名企業を顧客に、確かな実績を上げている点に魅力を感じてTSLを志望しました。自分の将来を託すにふさわしい会社だ、と感じたのです。

Q やりがいや苦勞、忘れられない仕事は?

新人研修の後、システム開発の上流～下流に至る全工程を体験。その後、Webアプリやスマートフォンアプリの開発に携わり、徐々に自信がついていきました。その経験を踏まえ、2年目から現在の生産販売管理のチームに配属。目下設計や開発業務を担っています。

直接お客さま企業に伺い、システム構築の最上流工程であるビジネス要件を定義するプロセスに参画。ご要望のヒアリングとともに、新システムのプレゼンテーションなどを行っています。若手ながら、お客さまのビジネス課題を解決に導く役割を担う責任の重さが、仕事のプライドになっていることを実感しています。

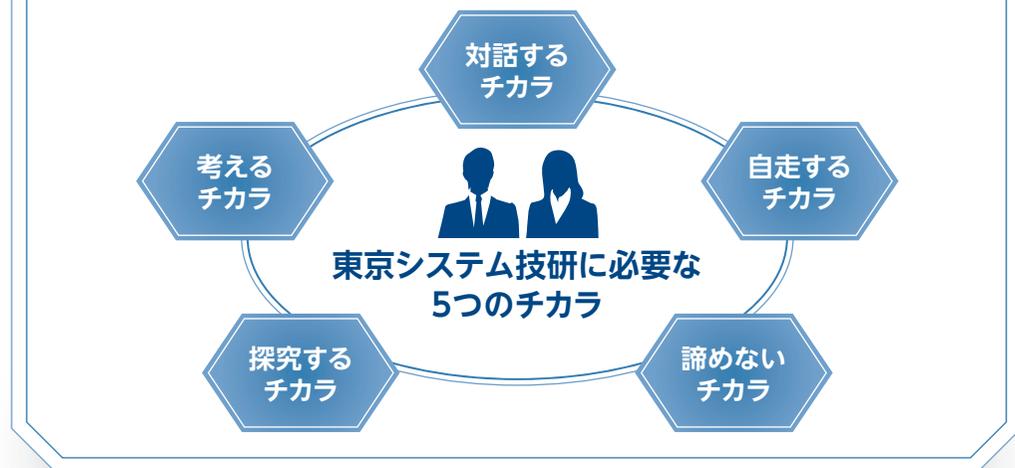
1日のスケジュール	~10:00 出社・メールチェック 朝はゆっくり出社する	~12:00 作業 開発などの担当業務	~13:00 お昼休み 先輩とランチ	~14:00 進捗確認会議 私のチームは週に1回	~19:00 作業 自分の仕事や先輩の仕事の確認
-----------	------------------------------	---------------------	--------------------	--------------------------	--------------------------



M・H

製造ソリューション部
2016年入社 商学部経営学科卒

求める人材像



人事スローガン

“WORK HAPPINESS”

- 働くことが楽しくなる会社を創ります -

社員が心身ともに健康で楽しく働けるよう、
納得性・満足度の高い人事制度や
最高のパフォーマンスが発揮できる環境を創り続けています。

POINT

低離職率

3.9%

平均
有休取得日数

12日間

高育休取得率

100%

高い
平均年収

東洋経済
「平均年収が高い中小企業」
ランキング

フレックス
タイム制

TRAINING SYSTEM

研修制度

▶ 新入社員研修

新入社員研修では、最初の1か月間は集合研修として、コンピューター未経験の方でも理解できるようコンピューターについて1から学び、ハードウェア・ソフトウェアそれぞれについて研修を行うと同時に、SEとして最も必要なコミュニケーション力(聞く・話す・読む・書く)に重点をおいた研修を実施します。その後、配属された部門ごとの研修へと移行していきます。

1年間の研修体制

1年間の研修体制												(月)				
12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~
A. 入社前研修				入社												
				部配属												
				B. 集合研修												
				C. 部門研修												
				D. 初級技術者研修												
				E. OJT												

▶ OJT

期間は1年ですが個々のレベルにあわせて数年かけて行うこともあります。実際のプロジェクトに関わりながら成長を実感していただきます。また並行して基礎知識習得のため、講義も受けていただきます。データベースやネットワーク、セキュリティに関する技術など、エンジニアにとって必須となる知識がテーマです。

▶ その他の研修

新入社員研修後も先輩社員として後輩を迎え入れるための研修や、数年スキルを積み重ねた後にはリーダーとなるための研修、ほかにも今、話題のAI(人工知能)に関する中級技術者研修、通信教育制度などがあり、適性や自分のキャリアプランに合わせてスキルアップできる研修が充実しています。また、会社で推奨する資格を取得すると15万円までの報奨金が支給されます。

